

名 称	嵯峨塩のオオバボダイジュ、モイワボダイジュ、ハルニレおよび生育地
場 所	甲州市塩山牛奥、大和町初鹿野
所有区分	県有地
面 積	0.73ha
標 高	1,150m
指定年月日	昭和 51 年 12 月 27 日
指 定 理 由	<p>日川溪谷の嵯峨塩鉱泉附近にオオバボダイジュ、モイワボダイジュ、ハルニレの生育する貴重な天然林がある。</p> <p>オオバボダイジュは、シナノキ科の落葉高木で、葉の裏側に細かい星状毛が密生し白色に見える。</p> <p>モイワボダイジュは、オオバボダイジュの変種で混生することが多く、葉の裏側に毛が少なく緑色に見える。</p> <p>我国の主な生育地の主脈は、北海道から東北をへて飛騨地方に及ぶ日本海側であるが、新たに富士山方面に延びる支脈があることを示すものであり、また、分布の南限に当たるものとして貴重である。</p> <p>ハルニレは、ニレ科の落葉高木で、本県で生育していることは少なく、しかも、県内山地で稀に見る巨木で貴重である。</p>